

平成26年度青森県公社等経営評価書

(平成25年度決算ベース)

法人名等		法人の自己評価(経営評価指標)				
10	八戸臨海鉄道(株)					
所管課名	企画政策部交通政策課					
決算状況 (単位:千円、%)						
出資	資本金				県出資額	県出資比率
	570,000				165,000	28.9
決算	前期純利益				当期純利益	利益剰余金
	1,076				11,555	351,698
資産	資産				負債	純資産
	1,444,328				522,630	921,698
財務分析指標					上記についての所管課の意見・評価	
自己資本比率	総資産 経常利益率	県財政関与率	総資産回転率	売上高 経常利益率	【目的適合性】 <input checked="" type="radio"/> 地域の産業振興に大きな役割を果たしており、引き続き適切な業務実施に努める必要がある。	
63.82	1.94	0.34	35.96	5.41		
販売管理費 比率	人件費比率	流動比率	借入金比率			
19.07	47.14	311.90	3.01		【計画性】 <input type="radio"/> 計画性のある経営がなされている。昨年度から経営陣も交代したことから、今年度新たな計画策定を行う必要がある。	
経営評価結果		【組織運営の健全性】 <input type="radio"/> 今年度、経理規則の改正を行うなど内部統制に改善が見られるが、内部統制の充実に向けて、今後も着実に取り組んでいく必要がある。また、今後は人材育成にもより一層取り組む必要がある。				
評価区分	B:改善の余地あり				【経営の効率性】 <input type="radio"/> 人件費比率の増加が見られるが、利益は確保している。今後、収益の確保、経費の削減に適切に取り組む必要がある。	
<財務状況> 財務の状況については、毎期、ほぼ安定して黒字を確保していることは評価できる。						
<経営状況> 法人が自己評価した経営評価指標の項目については、各評価項目について、おおむね妥当なもの認められる。						
<改善事項等> 当法人の売上高は、平成22年度以降減少傾向にあり、特に、貨物運輸収入は、主要顧客である三菱製紙(株)八戸工場の操業に左右され、低迷している状況にある。 また、八戸市及び青い森鉄道(株)からの業務を受託し、鉄道事業以外での収入確保に取り組み、最終的に利益を確保している点は評価できるものの、当該受託業務においても、国の経済対策に関連する時限の委託事業が含まれていること、直営での実施が検討されていることなど、今後、受託業務量の減少が見込まれるところであり、持続可能な経営基盤の確立に向け、今後の事業の再構築を含め経営のあり方について検討を望みたい。						
【財務状況の健全性】 <input type="radio"/> 財務状況は問題なく健全である。これまでも最終利益(当期純利益)ベースでは毎年黒字であったが、本業での収益拡大、費用削減を徹底し、営業利益ベースでも毎年黒字となるよう取り組む必要がある。						